

サステナビリティ 報告に係る 内部統制(ICSIR)

有効なICSIRの確立

ESG(環境、社会、ガバナンス)報告は、サステナビリティ報告やCSR報告とも呼ばれますが、企業に求められる報告の一つとして定着してきました。投資家や、顧客、従業員、サプライヤー、地域社会といったステークホルダーは、それぞれの意思決定においてサステナビリティ報告を活用しており、報告が正確で関連性を有し、適時かつ網羅的であり、有効な内部統制の下で作成されるべきという明確な期待を持っています。

サステナビリティ報告に係る有効な枠組みを構築するためには、2013年版COSO内部統制の統合的フレームワーク(ICFR)とその後に公表された適用ガイダンスが示す実践的な指針を活用することが推奨されます。

サステナビリティ報告に係る内部統制に関しては、現時点において、その有効性について外部監査人の意見が求められているわけではありません。しかし、サステナビリティ報告に関するアシュアランス・サービスを提供している主な会社は、2013年版COSO内部統制の統合的フレームワークを、より高い効率性、客観性および独立性を持ったアシュアランスを提供するための、有効な内部統制を支える体系的なアプローチとして認知しています。

支援内容

-  内部統制の設計および評価に関する深い知見と独立性
-  実践的かつ重要性に基づいたアプローチ
-  2013年版COSO内部統制の統合的フレームワークの適用経験
-  既存ITツールの活用や新たなITツールの利用検討
-  あらゆる業界における経験と主要なサステナビリティ報告基準に関する知識
-  アシュアランスの対象範囲に応じた支援と準備

期待される成果

-  報告の正確性に関する信頼度向上
-  報告の効率性向上とコスト削減
-  アシュアランスに対応した内部統制の構築
-  ガバナンスの強化

プロティビティのICSRに対するアプローチ



1 目標の決定

社内外に向けたサステナビリティ報告の目標を設定、文書化し、関係者に伝達する。サステナビリティ報告の具体的な要素を捕捉し、報告データ作成におけるリスクの評価を行うために、具体的な要素の特定と測定に関する原則を確立する。



2 対象トピックスの特定とリスク評価

サステナビリティ報告に関する目標の達成を阻害しうるリスクや重要トピックスを、定量的・定性的重要性を踏まえて評価し、統制活動の整備・運用の対象範囲を決定する。



3 統制活動の整備・運用

サステナビリティ報告の重要トピックスにおける誤謬・虚偽表示のリスクを管理し軽減するために、データの測定、管理および完全性確保を含む事項に関する統制活動を整備・運用する。



4 有効性の評価

サステナビリティ報告に係る内部統制について、整備状況と運用状況の有効性を定期的に評価し、統制活動が意図したとおりに機能していることを確認する。

プロティビティは、内部監査ソリューションにおけるグローバルリーダーであり、ESGプログラムの実施と開示に関する深い経験に基づく支援を提供しています。ESGにおいては適切な管理・監督が必要であり、適切な方針を定め、取締役会および3つのディフェンス・ライン全体にわたって役割と責任を明確にするとともに、効果的なKPIと内部統制を関係者の理解の下で実施することが求められます。

プロティビティは、サステナビリティ報告に伴うリスクと機会には継続的な対応が必要であると考えます。レディーメイドの解決策はなく、企業ごとのアプローチによって効果的なサステナビリティ報告を実施していく必要があります。

プロティビティについて

プロティビティは、企業のリーダーが自信をもって未来に立ち向かうために、高い専門性と客観性のある洞察力や、お客様ごとに的確なアプローチを提供し、ゆるぎない最善の連携を約束するグローバルコンサルティングファームです。25ヶ国、85を超える拠点で、プロティビティとそのメンバーファームはクライアントに、ガバナンス、リスク、内部監査、経理財務、テクノロジー、デジタル、オペレーション、データ分析におけるコンサルティングサービスを提供しています。プロティビティは、米国フォーチュン誌の2022年働きがいのある会社ベスト100に選出され、Fortune 100の80%以上、Fortune 500の約80%の企業にサービスを提供しています。また、成長著しい中小企業や、上場を目指している企業、政府機関等も支援しています。プロティビティは、1948年に設立され現在S&P500の一社であるRobert Half International (RHI)の100%子会社です。

プロティビティLLC protiviti.jp

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-4 TOKYO TORCH 常盤橋タワー 24F Tel. 03-4577-3980
〒530-0001 大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー 18F Tel. 06-6450-9367

Protiviti, Protivitiロゴは、Protiviti Inc. の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。その他の記載されている会社名・製品名は各社の登録商標です。

PLJ2302

protiviti®